

不当解雇は許さない

たたかいで空の安全を守る



熱気を力に早期解決へ

『JAL争議支援全国ネットワーク』結成

JAL争議支援東京 者交流会」を都内で開
連絡会は5月6日、 催し、全国各地からの
「全国JAL争議支援 参加者でいっばいとな

JAL争議早期解決に向けこぶしをあげる

り、活発で熱
気溢れる議論
の中、『J A
L争議支援全
国ネットワー
ク』を結成す
ることが満場
一致で確認さ
れた。

「優先雇用事件をめぐる
幹旋は不調だった
が、JALの不当労働
行為を改めて浮き彫り
にした。解雇されたパ
イロットで現在はJ A
Lの子会社に雇用さ
れ、JAL便を操縦し
ている仲間の原職復帰
を拒んだ。闘う組合、
物言う労働者を嫌悪し
敵視し恐れているから
だ。都労委での闘いを
さらに攻勢的に力強く
展開して解決を勝ち取
るためには、会社を追

い込んでいくことが不
可欠だ。15年目を迎え
た今、4・25コンサート
集会の成功と、『J A
L争議支援全国ネット
ワーク』の結成は、みん
なに大きな運動の拡が
りを確信させた。この
拡がりを大きくして、
争議解決を勝ち取る
う」と呼びかけた。

続いて争議団の現状
報告とJHUが「争議
の解決なくして空の安
全はない」と提起。事
務局から全国支援の要
請を行った。

次に、各地で支援行
動を行っている団体を
代表して、福岡・岡山
・徳島・茨城から、キ
ャラバンや労働局交渉

などの取り組み報告や
今後の方針、争議に対
する思い、決意を述べ
た。また、釧路、秋

パローで、争議の早期
全面解決を誓い合っ
た。

田、仙台、静岡、神奈
川、東京からも、会社
に迫る取り組みへの希
望、国労闘争を教訓
にしたアドバイス、「全
国ネットワーク」結成
の要望が出された。

これまで全国各地で
行われてきた支援の取
り組みが、全国ネット
ワークとしてつながり
連携して展開されるこ
とになる。解決をめざ
す運動を一つに結集す
る意味は大きい。争議
を一日も早く解決させ
よう。

最後に、山口宏弥J
HU委員長の団結カン

(伊藤)